

●●
特集

海外研修から伝えたいこと

FRONT ESSAY FRONT ESSAY

海外の医療機関における 感染管理の取り組み ～感染管理研修海外ツアーに参加して～

昨年11月13～15日にかけて、ハワイで行われた、感染管理研修ツアーに参加してきました。

12月13日に羽曳野エリア、1月25日に八尾エリアにて研修報告会を実施し、海外の医療機関における感染管理の取り組みを報告しましたが、参加できなかった職員にも研修で学んだことを伝え、一人でも多くの職員が研修に参加したいと思える取り組みを引き続き行ってきたいと思います。

また、感染管理は安全に医療を提供するうえで最も大切で基本となる取り組みの一つで、今回の研修で学んだ海外の医療機関での取り組みから、当院での課題解決や新たな取り組みの参考にできればよいと思っています。

さて、今回参加した感染管理研修は、NPO法人日本感染管理支援協会(※1)の主催で、3日間かけて講義と病院ラウンドを行うプログラムでした。

日本各地の医療機関から参加があり、感染管理認定看護師やこれから認定を目指す看護師を中心に医師、臨床工学技士、保健師などが参加しており、合計19名(13施設)と多くの職種の方が参加していました。島田病院からは、看護部の江口サブリーダーと総務部の望

2012 No. 3
島田病院医療安全管理委員会が送る
患者さまと職員に関するニュース

●●
FRONT ESSAY
海外の医療機関における感染管理の取り組み
～感染管理研修海外ツアーに参加して～

月の2名で参加しました。
研修プログラム

11/13	11/14	11/15
従業員保健	人工呼吸器関連事象	SSI
感染管理と工事/環境	成人 CLABSI	ラウンドⅠ 「クイーンズ・メディカル・センター」
CAUTI	抗生物質	ラウンドⅡ 「ジュリアーズ小児病院」
消毒減菌プロセス	新生児/小児 CLABSI	

各講義は、その部門のスペシャリストにより行われました。当然英語での講義ですが、通訳の方が非常にわかりやすく通訳してくれていましたので、英語での講義でもほとんど違和感なく受けることができました。どの講義でも、それぞれの分野のなかで、対策チームを組んで感染管理に取り組んでいるのですが、それまで感染対策に対して後ろ向きだった医師をチームの中心メンバーとして取り組みを行ったり、全ての分野でセラピストや事務員もチームに含まれていたりなど、組織全体での取り組みを行った結果が感染率の低下や高い手指衛生遵守率に繋がっているということをはほとんどの講義で講師の方々が話をされていたのが非常に印象に残りました。

我々事務員も深く診療に関わっていることを改めて認識し、今後も感染管理への取り組みはもちろん、その他の診療に関わる取り組みにも積極的に関与していこうと考えさせられた時間でした。

例えば、手指衛生遵守の取り組みとして、誰かがシークレットサーベイヤーとなり評価そして指導できる体制の構築などを今後していきたいと考えています。

今回の研修では、2つの病院を視察することができました。

一つは、150年以上の歴史があるハワイ随一の総合病院で、もう一つは4年前にできたばかりの小児専門病院を視察しました。



左：クイーンズ・メディカル・センターはハワイ随一の総合病院で高級ホテルのような外観でした。

右：ジュリアーズ小児病院は、世界各国から多くの患者が訪れる小児専門病院です。

これだけ聞けば正反対の病院だと感じるかもしれませんが、実は多くの共通点があります。

例えば、両病院ともそれぞれのフロア、部門でテーマを持って建築されていること。そして、患者さまへの癒しや安全にも配慮されていることなど診療以外の部分でも多くの共通点がありました。このように、しっかりとしたコンセプトを持って考えられた施設は利用する人達にもしっかりと受け止められ、多くの人が信頼し、利用する施設になっていくんだと感じました。



海外の医療施設や参加者の自施設での活動状態を深く知る機会となった今回の研修では、今後自分達の施設で活動することへの大きな刺激となりました。異国での文化の違いに触れ、向上意識の高い参加者と話す

ことで、それまでの自分の考えを改めることができた、逆にこれまでの自分の行動に自信が持てたり、何らかの影響を与えてくれたのは間違いありません。

それは、海外研修に限らず全ての研修で言えることだと思います。

研修後すぐに結果を出さないといけないと思いつつも躊躇するのではなく、少しずつでも成長に繋がると考え、海外研修を含む多くの研修に皆さんも参加してはいかがでしょうか。

私自身は、楽しかった海外研修をきっかけに、これからも自身の成長と刺激を求め、色々な研修に参加していきたいと思っています。

(※1) 日本感染管理支援協会 <http://www.jicsa.net/>

総務部 施設管理室 望月 学

SNSで情報漏洩！！？

インターネットのSNSは人気のサービスで楽しく友達の輪を広げられるのですが、写真や書き込みで仲間や友人の情報が漏れてしまうこともあります。

つい先日も、病院へ実習に来ていた医療専門学校生による、なにげないツイッターへの書き込みにより、秘密漏洩があったとして、大きく報道で取り上げられていました。

実習生への周知指導も必要ですが、新人職員への指導や各個人でも注意が必要です。

事態が起きてからでは遅いこと、その後の影響の大きさ(組織と個人)を考え行動してください。

マナーを守って大人の対応をしたいですね。

診療支援部 診療情報管理室 林 辰三

プランナー：総務部 望月

次号は 5月です！

発行人 医療安全管理委員会 編集担当 森下 幸子

発行所 医療法人永広会島田病院内